

# 1. 評価結果概要表

作成日 平成19年9月10日

## 【評価実施概要】

事業所番号	0176700391		
法人名	社会福祉法人 稚内木馬館		
事業所名	グループホーム ひだまりはまなす館		
所在地	北海道稚内市はまなす1丁目979番地1号 (電話) 0162-34-8044		
評価機関名	タンジェント株式会社		
所在地	北海道旭川市緑が丘東1条3丁目1-6 旭川リサーチセンター内		
訪問調査日	平成19年9月7日	評価確定日	平成19年9月20日

## 【情報提供票より】(平成19年8月10日事業所記入)

### (1) 組織概要

開設年月日	昭和(平成)12年4月10日		
ユニット数	2 ユニット	利用定員数計	18 人
職員数	20 人	常勤	19人, 非常勤 3人, 常勤換算 16.5人

### (2) 建物概要

建物構造	木造モルタル亜鉛鋼板葺 造り		
	2階建ての 1~2階部分		

### (3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	18,000~28,500 円	その他の経費(月額)	10,000 円	
敷金	有( ) 円) (無)			
保証金の有無 (入居一時金含む)	有( ) 円)	有りの場合 償却の有無	有 / 無	
食材料費	朝食	円	昼食	円
	夕食	円	おやつ	円
	または1日当たり 1,035 円			

### (4) 利用者の概要(8月10日現在)

利用者人数	18名	男性	1名	女性	17名
要介護1	7名	要介護2	6名		
要介護3	4名	要介護4	1名		
要介護5	要支援2				
年齢	平均 80.2歳	最低	63歳	最高	94歳

### (5) 協力医療機関

協力医療機関名	市立稚内病院(総合) 道北勤医協宗谷医院(内科)		
---------	--------------------------	--	--

## 【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

社会福祉法人を中核として、ディサービスセンターが併設され利用者との交流が日常的に行われているグループホームである。ホーム前の敷地は広く近隣住民や市民が参加した「ひだまり祭り」の開催やかぼちゃなどの野菜の栽培、花火などの行事に利用されている。また、共用空間の廊下の壁には利用者の塗り絵や手作りの紙細工の作品が展示されたり、ホールには利用者が集いゆっくり談笑などできるスペースが用意され家庭的雰囲気を感じられた。管理者・職員は、研修の意欲も高く個々の目標を持ち自己研鑽に取り組まれている。利用者個々に対応された居室には、日常使い慣れた家具や生活用品などが持ち込まれ安心して過ごせる場となっている。

## 【重点項目への取組状況】

重点項目	前回評価での主な改善課題とその後の取組、改善状況(関連項目:外部4) 前回評価では、認知症に対する理解や広報にさらに取り組む活動についてあげられていたが、チラシを配布して「ひだまり祭り」への参加を市民に呼びかけしたり、町内会の敬老会に参加するなど地域へ認知症に対する啓発に取り組まれています。
	今回の自己評価に対する取組み状況(関連項目:外部4) 自己評価に取り組む意義を管理者、職員は十分に理解し、そこでの評価について改善の機会と捉えケアサービスの質の向上に利用されています。また、外部評価の結果については、運営推進会議で報告する計画がされています。
重点項目	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取組み(関連項目:外部4,5,6) 運営推進会議の委員は、市担当者・包括支援センター・町内会役員・家族会からの参加が決定され、自己評価及び外部評価への取組み状況や家族会や地域からの意見や要望など伺いケアサービスの質の向上に取り組む予定です。第1回目の運営推進会議については、各委員と調整して10月に開催することが決められています。
	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7,8) 共用空間には、来訪者に分かり易いように職員の紹介が写真で掲示され、意見や要望、不安などが言いやすい雰囲気づくりをしています。また、家族会も開催され、そこでの意見や要望など運営に反映される仕組みが整っています。
重点項目	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3) 町内会に加入しており敬老会などの行事への参加、ホーム主催の「ひだまり祭り」を開催して地域の人達との交流が図られています。また、近隣への散歩や買い物、併設されているディサービスセンターで地域の人達との交流など日常生活を通じて地域との連携が行われ認知症に対する理解や広報に取り組んでいます。

## 2. 評価結果（詳細）

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>理念に基づく運営</b>					
<b>1. 理念と共有</b>					
1	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	以前からある運営理念をもとに、利用者が地域の中でその人らしく暮らし続けるサービスとして理念を職員間で共有されている。		
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	管理者、職員は理念をユニット会議で話し合い共有している。		職員は、運営理念を達成するための具体的な個々の目標を明確に持っているため、その達成度について話し合わせられフォローアップされる機会を設けてみては如何か。
<b>2. 地域との支えあい</b>					
3	5	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	町内会などの地域の行事に参加したり、ホーム主催の「ひだまり祭り」の開催や併設されているディサービスとの交流で地元の人々との交流に努めている。		敬老会は、家族も参加して行われ市からお祝いの電報が届いたり市長のメッセージがビデオで流れたり、行政との連携が行われています。
<b>3. 理念を実践するための制度の理解と活用</b>					
4	7	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	管理者、職員は自己評価及び外部評価を実施する意義を良く理解しており、日々の業務の中で、活かす取り組みがされている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
5	8	<p>運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>運営推進会議は、市担当者・包括支援センター・地域の役員・家族会が参加して10月に開催予定である。</p>		<p>運営推進会議では、自己評価及び外部評価への取り組み状況や家族会や地域からの意見や要望など伺いケアサービスの質の向上に取り組む予定です。</p>
6	9	<p>市町村との連携</p> <p>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会を作り、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる</p>	<p>事業所、管理者は市と運営推進会議の議事や開催についての相談や連携について日々取り組んでいる。</p>		
<p><b>4. 理念を実践するための体制</b></p>					
7	14	<p>家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている</p>	<p>スタッフの紹介を写真つきで来訪者、家族に分かり易いように掲示されている。また、状態変化については都度電話連絡などで詳細に報告している。</p>		<p>ホームの日常の暮らしぶりなどを伝えるパンフレットや通信の作成など検討されている。</p>
8	15	<p>運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>家族会で意見を聞く機会を作ったり、来訪時には気軽に話せる雰囲気づくりに取り組んだり、苦情相談窓口を明確にして気軽に意見や苦情・相談ができる環境整備に心掛けそれらを運営に反映させている。</p>		
9	18	<p>職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	<p>共用空間で全スタッフを写真付きで紹介を掲示するなど家族にきめ細かな情報提供をしている。また、管理者は職員の異動などで利用者に影響を与えないように配慮する取り組みをしている。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>5. 人材の育成と支援</b>					
10	19	職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	外部の研修参加を奨励して参加者の報告会でフォローアップされたり、送りなど職場内研修やOJTの実施がされ職員を育てる取り組みがされている。		職員の資格取得などの研修の意欲が高く、ケアサービスの質の向上に取り組んでいる。
11	20	同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワーク作りや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	グループホーム協議会の事務局との交流や市主催の会議での交流などケアサービスの質の向上に取り組んでいる。		地域的に相互訪問は難しい面もあるが、他地域との交流も検討されている。
<b>.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
<b>1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応</b>					
12	26	馴染みながらのサービス利用 本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐徐に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	入居前には、利用者・家族の見学などで不安を解消する取り組みや、場の雰囲気に馴染めるよう相談しながら工夫している。		
<b>2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援</b>					
13	27	本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	利用者の過去の大事な出来事や生活歴を把握して、趣味への支援や外出などで気分転換を図るなど本人の気持ちになった支えあう関係を築いている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
<b>1. 一人ひとりの把握</b>					
14	33	<p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	<p>散歩や買い物、サロベツ原野や宗谷岬などへのドライブなど外出の機会を多く作ったり紙細工やパズル、ビデオ鑑賞などの趣味への支援など本人の希望や意向を尊重した取り組みがされている。</p>		
<b>2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し</b>					
15	36	<p>チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、介護支援専門員の適切な監理のもとに、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	<p>介護計画は、利用者、家族の希望や医師からの助言・情報や職員からの意見を取り入れ具体的な介護計画となっている。</p>		
16	37	<p>現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、介護支援専門員の適切な監理のもとに、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>	<p>介護計画書に記載している個別の期間を目安に評価を行い定期的に見直しが行われています。また、利用者・家族の要望や利用者の状態変化に応じて期間終了前であっても都度、現状に即した介護計画の見直しが行われています。</p>		
<b>3. 多機能性を活かした柔軟な支援</b>					
17	39	<p>事業所の多機能性を活かした支援</p> <p>本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている</p>	<p>併設されているディサービスの利用や本人や家族の状況に応じて、通院の支援や要望のある場合には散歩や買い物など柔軟に支援を行っている。</p>		<p>理美容師などのボランティアの訪問で、利用者や家族に喜ばれている。</p>

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働</b>					
18	43	かかりつけ医の受診支援  利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている。	利用者を良く知る看護師が配置され、医師との連携が確保されている。また、利用者、家族の希望や要望に応じて状態変化などについても適切な医療が受けられるよう支援されている。		
19	47	重度化や終末期に向けた方針の共有  重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	医療機関と連携して利用者・家族とも段階的に相談しながら慎重に検討対応するよう職員間で共有される取り組みがされている。		
<b>. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
<b>1. その人らしい暮らしの支援</b>					
(1)一人ひとりの尊重					
20	50	プライバシーの確保の徹底  一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	利用者一人ひとりの尊厳やプライバシーを尊重した声かけなど取り組まれている。また、記録等の個人情報の扱いについては、個人情報保護法に対応した配慮がされた取り組みが行われている。		
21	52	日々のその人らしい暮らし  職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	利用者一人ひとりの今の気持ちを尊重して散歩や買い物で金銭を使う場面を見出したり、紙細工やパズルなどの趣味への支援など本人の希望やペースに沿って支援している。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	職員と利用者が本人の希望や力量に応じて一緒になって食事の準備や食事をして和やかな雰囲気を出している。		
23	57	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	入浴日は決めずに週2回利用者の希望に応じて対応している。また、ゆっくりとくつろいで入浴が楽しめるように支援されている。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	利用者一人ひとりの過去の大事な出来事や生活歴が把握され、折り紙や紙細工、畑での野菜の収穫、散歩、買い物、足浴やふれあい公園などへのドライブで心身のリフレッシュや気分転換の機会も多くつくられている。		
25	61	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	買い物、散歩、サロベツ原野や宗谷岬、ふれあい公園までの母体法人所有のバスでのドライブなど気分転換や心身のリフレッシュができるように積極的に外出ができるように支援されている。		
(4) 安心と安全を支える支援					
26	66	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	玄関は、鈴などの鳴り物で鍵をかけないケアに取り組んでいる。利用者が外出する時は、職員がさりげなく目配りして安全面で配慮されています。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
27	71	<p>災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている</p>	<p>緊急時に全ての職員が速やかに対応ができるように利用者と共に実技を伴う火災避難訓練が年2回実施されています。また、救急救命の訓練についても実施されています。</p>		<p>今後は、近隣の住民も参加した火災避難訓練を実施して日頃より協力が得られる働きかけを行う計画がされています。</p>
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	<p>栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p>	<p>具体的な水分・食事摂取量が記録され、専属の調理師が配置され栄養バランスやカロリーについても把握されています。また、法人内の栄養士の指導・アドバイスも受けて支援されている。</p>		
<b>2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり</b>					
(1)居心地のよい環境づくり					
29	81	<p>居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>エレベーターや昇降機が配備され車椅子に対応され、廊下には椅子やテーブルが配置され一人になったり利用者同士談笑できるスペースが確保されている。前庭では、畑作りや日光浴を楽しむことができ季節感や気分転換ができるように配慮された工夫がされている。</p>		
30	83	<p>居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>居室は、仏壇や使い慣れた家具、生活用品などが持ち込まれ安心して過ごせる場となっている。廊下には、趣味の紙細工や手作りの作品が飾られ一人ひとりの思いが伝わる空間作りとなっている。</p>		<p>廊下の壁には、利用者一人ひとりの作品を展示できるスペースがあり、思いを大切にしている。</p>

 は、重点項目。

WAMNETに公開する際には、本様式のほか、事業所から提出された自己評価票（様式1）を添付すること。